

## ～尼崎事件といじめ 根は同じ～

市人権推進課（教育庁舎1階）

TEL 32・21222 / FAX 33・3525

2012年10月26日付の徳島新聞「読者の手紙」欄に、徳島市在住の方が、標記の題で投書をされたのが目にとまりましたので、ご紹介します。

「いじめと尼崎事件との関連」について、みなさん、ともに考えてみませんか。

兵庫県尼崎市の死体遺棄事件で、角田美代子被告の周辺で、現在多数の行方不明者や死亡した人が出ています。身内や親族が次々とターゲットになり、恐喝や強要、

力でお金を強奪し、お金がなくなれば死に至らしめる。被害者が角田美代子被告への恐怖から、暴力や金品の強奪に荷担して、加害者集団は大きく増殖していったのだと思う。

暴力集団が大きくなると、被害者からは厳しくお金を巻き上げ、暴力もそれに応じて強力になっていったのだらう。それを近所付き合いの希薄さから、警察も近所の人たちも見えて見ぬふりをしてきたことが事件を大きくした原因の一つであろう。子どものいじめによる自殺問題が新聞紙上にぎわしているが、この尼崎事件と学校でのいじめの問題の根っこは同じではないだろうか。

学校のいじめも、気の弱い子や体に障がいのある子、転校生が狙われるのは、動作や言葉の違いで差別することから始まる。いじめに遭った子は、そのいじめグループに従属することによって自分はいじめから逃れようとする。

（中略）

他人に対し暴力を持って従わせるような親が、正しさとは何かなど考えたこともないだらう。

その後、角田美代子容疑者が留置場内で自殺したため、事件の真相究明が困難となつていますが、この事件の残忍さと冷徹さに、全国民が驚愕をおぼえたものでした。ただ、投稿者も指摘しているように、『近所付き合いの希薄さ』や『見て見ぬふりをしてきたこと』が、被害を大きくした原因の一つであろうことには、疑いの余地もないだらうと思います。学校での「いじめ」も「尼崎事件」の殺人も、「人権と命」をあまりにも軽視していることに、共通項があるように思います。

### 参考・引用文献

2012年10月26日

「徳島新聞」提供



## 新行政相談委員に三ツ本さん

本市担当の行政相談委員として、4月より三ツ本善則さんが新たに総務大臣から委嘱されました。

### ◆行政相談委員とは、

行政相談委員法に基づき、総務大臣が委嘱している民間のボランティアです。国の行政全般について苦情や意見・要望を受け付け、公正・中立の立場から関係行政機関などに必要なあつせんを行い、その解決や実現の促進を図る業務を行っています。

詳しくは、市秘書人事課広報広聴担当（TEL 32・3812 / FAX 32・1474）まで。



## 新消防団組織が決まりました

新消防団長、副団長の辞令交付式が3月1日、市役所市長応接室にて執り行われ、副団長であった窪田頼明さんが新たに消防団長に就任されました。

新消防団組織の団長、副団長は次の方々です。

【団長】 窪田頼明さん（大林町）

【副団長】 岡本秀文さん（田浦町）

森新次郎さん（坂野町）



窪田頼明さん